

NPO法人富山観光創造会議
富山市観光ボランティアの会紙ふうせん合同
～ 第45回「街づくりサロン」～

テーマ：とやまの産業観光

—売薬が育てた富山のモノづくり—

ゲストスピーカー：須山 盛彰氏

富山県郷土史会副会長

幕末の頃、富山の街はすでに大きな商工業都市でした。

なぜかという、その理由の第一は富山売薬です。毎年 3000 人の売薬行商人が他領へ出かけ、約 20 万両の売り上げを持ち帰ったとされます。

それなら、商品であるクスリをつくる原材料やつくり手（労働力）はどうしたのでしょうか。富山には薬種商、紙商、飴屋、曲物屋、印判屋、木彫師など各種の商売が栄え、明治時代になると印刷業、製薬業、製缶業なども加わり、第二次大戦後のプラスチック産業まで、売薬関連の産業は進化・発展していったのです。

現在の富山は、江戸時代と違った新しい意味での「薬都」に成長しつつあります。そして、売薬関連の産業においても、技術やノウハウを伝えながらも全く違った分野で特色を発揮している産業も多いのです。

産業観光という視点から富山の特色あるモノづくりを考えてみたいと思います。

◎日時：2012年2月2日（木）18：30～

◎会場：堤町まちの駅ビル6F

*受講料500円(お茶代含) ※会員は無料です

主催：NPO 富山観光創造会議観光部会（担当：池田・山下）

富山市観光ボランティアの会紙ふうせん

富山市堤町通り1丁目3番7号 堤町まちの駅ビル4F

TEL (076) 407-0521 FAX (076) 407-0511

・ご住所

・お名前

(連絡先)

e-mail:

・お勤め先またはご職業

*メンバー及びこちらからご案内申し上げている方は名前だけで結構です。

*メールによるご案内にご協力ください。